



浜松市

## 平成23年度 外部評価資料

資料番号	事業名	所管課
3-2	中央卸売市場事業	中央卸売市場

# 事業シート1

課コード: 001910000  
担当組織: 中央卸売市場

作成日: 平成23年5月30日  
責任者: 山田 正樹

基本政策	課	政策	目	事業	款	項	目	事項	款	項	目	事項
計画コード	02	02	0111	02	011102	予算コード	26					

## 事業名: 中央卸売市場事業

事業費 (予算) (単位:千円)	22年度	23年度	比較	人工 (正規職員) (単位:人)	22年度	23年度	比較
	568,810	537,378	△ 31,432		8.0	7.0	△ 1.0
23年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他
	177,240	92,901	90,000		30,100		147,137

### ◆事業の目的

安全で安心な生鮮食料品等を市民に安定供給するため、時代の要請に対応した施設の整備を行う。

### ◆事業内容(平成23年度に何をやるか)

施設耐震化事業は、平成22年度で終了し、平成23年度からは第9次卸売市場整備計画に沿って、費用対効果を検討しながら生産と消費の両面から、効率的な施設整備を行う。(自動火災報知設備更新工事、駐車場路面改修工事、管理用コンピュータの更新)

生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理・保守により円滑な市場の管理運営を行う。(警備業務、清掃業務、各設備保守業務、緑地管理業務)

### ◆これまでの取組状況(平成22年度に何をを行い、その結果はどうなったか)

市場施設として、大規模地震発生時における食料供給基地としての機能を維持するため、計画的に耐震化事業を進めていくとともに、費用対効果を検討しながら生産と消費の両面から、効率的な施設整備を行った。(管理棟の耐震補強工事、青果セリ場防鳥ネット設置)

生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理・保守により円滑な市場の管理運営を行った。(警備業務、清掃業務、各設備保守業務、緑地管理業務)

開始年度	終了予定年度	事業の性格分類	根拠法令等					
昭和 54 年	年	自治事務	卸売市場法、浜松市中央卸売市場業務条例					
会計区分	戦略性	マニフェスト	事業の特徴	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
特別会計	分野別計画			○		○		
行革審答申	外部評価	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
○	*H20は事業仕分け		○					

(単位:千円)		H22	H23	H24計画	H25計画	H26計画	H23~26計
事業費	予算	568,810	537,378	840,235	1,205,302	1,180,092	3,763,007
	決算	744,246					0
財源内訳	国・県支出金			3,000	133,000	193,000	329,000
	市債						0
	その他	157,032	158,640	160,063	161,653	163,259	643,615
	一般財源	386,778	361,938	381,005	378,205	375,460	1,496,608
	*一般会計繰入	25,000	16,800	296,167	532,444	448,373	1,293,784
人件費(報酬等)		296	296	296	296	296	1,184
人件費		78,000	72,400	72,400	72,400	72,400	289,600
内訳	人工(正規)	8.0	7.0	7.0	7.0	7.0	—
	人工(非常勤)	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	—
	人工(再任用)	0.0	2.0	2.0	2.0	2.0	—
年間経費(事業費+人件費)		822,542	610,074	912,931	1,277,998	1,252,788	4,053,791

成果指標1 施設耐震化事業の推進⇒今後の市場の在り方⇒第9次 卸売市場整備計画の進捗率							
種類	アウトカム(成果指標)	単位	H22	H23	H24	H25	H26
	目標	%	64.4	2.8	11.4	30.6	49.2
	実績	%	60				

成果指標2							
種類		単位	H22	H23	H24	H25	H26
	目標						
	実績						

◆事業の成果(平成22年度末時点での目的の実現状況 ※活動ではなく状態)

市場施設の中核部分である受変電設備・施設の新築更新工事を終了し、災害時における最低限の市場機能を確保出来たと思慮する。

年々施設の老朽化が進む中、需用費について前年度比較で13,000千円の経費節減ができた。

平成22年度に管理棟の耐震補強工事を完成し、耐震化事業は終了とする。

## ◆評価(平成22年度事業の評価)

### (1) 必要性: 継続

(理由)

市場機能を運営維持管理するため継続

### (2) 実施主体: 市

(理由)

これからの市場を運営するためには、市・卸売会社・仲卸業者等の市場関係者の一致協働が求められ、市が開設者としてリード指導する必要がある。

### (3) 選択と集中 現状

(理由)

「卸売市場の将来方向に関する研究会」の方向性にもよるが、現状を維持しながら他都市との動向をさぐるのが最適と思慮する。

### (4) 改善: その他改善

(理由)

市場施設を指定管理者に委ねる方法も検討しているが、行政に係わる業務もあることから、両面から改善策を考える。

## 今後の方向性 改善

国の「卸売市場の将来方向に関する研究会」が終了し、この動向を見極めた上で、当市場の方向性を定め、改善する必要がある。

第9次卸売市場整備計画に沿って、施設を整備する。

## ◆改革・改善(評価を反映して何を見直したか)

### (1) これまでに実施した改革・改善(平成23年度予算で反映したものを含む)

- ・仲卸業者の、フォークリフト等のリース契約更新に合わせ調整しながら進める。
- ・水産卸売業者 フォークリフトの電動化率 90%
- ・取扱高が増加するような施設の改修計画
- ・市場使用料減免後の取扱高調査
- ・管理棟耐震補強工事が終了し、市場全棟の判定指標値が0.7以上となり、取組事項は完了とする。
- ・全国的に市場流通が過渡期に来ており、市場そのものの在り方を検討する必要がある。取組状況として、国の第9次卸売市場整備計画の策定が進む中、当市場としては、まず老朽化した施設及び設備の更新改修を主にした計画を作成した。

### (2) 今後の改革・改善計画(いつまでに何をどう見直す)

- ・運搬車両による卸売場内の排煙を減らし、衛生環境の向上を図る。
- ・バッテリー充電用電源の増設を行い、フォークリフトの電動化率を向上。(電動化率 90%)
- ・全国的に取扱高は減少傾向にあり、卸売業者の厳しい経営運営も見込まれ、健全な財政運営を維持するため、調整を図る。市としては、現状ニーズに対応した施設整備に取り組む。
- ・市場全域を考慮した時代ニーズに沿った整備計画が必要である。なお、老朽化した建物や施設の整備は、費用対効果を踏まえ最小限とし、維持管理に努める。
- ・効率的な施設運営を図るため、許認可行為や、老朽化した施設の改修など、その解決に向けて検討する。

## 補足シート1-①

	款	項	目	事項
予算コード	26			06

事業名：総務費

事業費 (予算) (単位:千円)	22年度	23年度	比較	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
	604,594	566,884	△ 37,710					
23年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他	
	177,240	92,901	90,000		30,100		176,643	

### ◆事業内容(平成23年度に何をやるか)

施設耐震化事業は、平成22年度で終了し、平成23年度からは第9次卸売市場整備計画に沿って、費用対効果を検討しながら生産と消費の両面から、効率的な施設整備を行う。(自動火災報知設備更新工事、駐車場路面改修工事、管理用コンピュータの更新)

生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理・保守により円滑な市場の管理運営を行う。(警備業務、清掃業務、各設備保守業務、緑地管理業務)

### ◆これまでの取組状況(平成22年度に何を行い、その結果はどうだったか)

市場施設として、大規模地震発生時における食料供給基地としての機能を維持するため、計画的に耐震化事業を進めていくとともに、費用対効果を検討しながら生産と消費の両面から、効率的な施設整備を行う。(管理棟の耐震補強工事、青果セリ場防鳥ネット設置)

生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理・保守により円滑な市場の管理運営を行う。(警備業務、清掃業務、各設備保守業務、緑地管理業務)

## 補足シート1-②

	款	項	目	事項
予算コード	26			56

事業名：公債費

事業費 (予算) (単位:千円)	22年度	23年度	比較	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
	75,406	75,116	△ 290					
23年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他	
							75,116	

### ◆事業内容(平成23年度に何をやるか)

中央卸売市場の施設整備事業債に係る、平成23年度の償還金及び償還金利息(平成22年度末の借入金残高758,971千円)

### ◆これまでの取組状況(平成22年度に何を行い、その結果はどうだったか)

中央卸売市場の施設整備事業債に係る、平成22年度の償還金及び償還金利息(平成21年度末の借入金残高812,275千円)

# 補足シート1-③

	款	項	目	事項
予算コード	26			99

事業名： 予備費

事業費 (予算) (単位:千円)	22年度	23年度	比較	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
	1,000	1,000	0					
23年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他	
							1,000	

◆事業内容(平成23年度に何をやるか)

平成22年度の剰余金を不足の事態に備える。

◆これまでの取組状況(平成22年度に何をを行い、その結果はどうなったか)

不足の事態無し

## 論点シート

事業番号	3-2	事業名	中央卸売市場事業
部局	農林水産部	所管課	中央卸売市場
H23 予算	537,378 千円	所管課	改善（その他）
H22 予算	568,810 千円	一次評価	
評価対象事業についての論点等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者や受益者は市域を越えているか、県や他の自治体の負担はあるか、浜松市民だけが負担を負っていないか（そうであれば改善策はないか）</li> <li>・指定管理者制度導入によりサービス向上やコスト削減が期待できるか</li> <li>・市場を観光に利用するなど、新しい価値創出の可能性はないか</li> </ul>			
評価対象事業についての二次評価			
<p><b>【改善（その他）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者、受益者が市域を越えているのであれば県及び他自治体の負担について検証すべき</li> <li>・市場を観光に利用するなど、新しい価値創出の可能性を検討すべき</li> </ul>			